

新生『学生サポートセンター』

今年度もセンター長メッセージを書かせていただきます。伊藤守弘です。よろしくお願ひ申し上げます。「今年度“も”」と書かせていただきましたが、センター長を拝命して6年目となりました。

皆さんにご報告があります。これまで5年間、コモンズセンターとして皆さんとともに活動をしてまいりましたが、2020年4月1日より、『学生サポートセンター』がオープンしました。これまでと同じく、不言実行館にあるラーニング・コモンズやスチューデント・コモンズは変わることはありません。より、サポートを充実させるために発展的改名をさせていただきました。詳細は下の図をご覧ください。

面倒だなあ〜
大学…
行きたくないかも

時間はあるけど
何をすればいいか
分からない…

大学3年になったら
就職活動が始まるけれど、
まだ面接で
語れることがない

そんな君!
ちょっと待って!!

どんなことでも、気軽に相談してみませんか?

不言実行館 3Fに 「学生サポートセンター」がオープンします!

「学生サポートセンター」は、大学生活を充実させるための場所です。
規則に縛られていた高校までと違って、自由すぎて何をすればいいか分からない。
全ての選択が委ねられているので主体的になるかどうかで全く結果が変わってきます。

学生サポートセンターは、学生の生活全般に関わるサポートを通じて、
充実した学生生活の実現を推進し、あてになる人間の育成を目指します。

- 自分の強みを認識する
- 持ち運び可能なスキルを身につける
- たくさんの知らない人に会う
- 好きなことに熱中できる大学生活を大事にする

常識に縛られず自分だけの大学生活を見つけよう!
色んなことに挑戦して自分だけの大学生活をつくろう!

より充実した大学生活を送りたいなら、「学生サポートセンター」へ!

春を様々なところで感じるが多くなっています。学内の桜の開花が進んでいるようです。本来ならば、昨日(4/1)は2020年度の入学式であったのですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、このような苦渋の決定がされました。

私は2年前より、学生寮の寮長を兼務しております。4/2に入寮式を規模縮小し、場所等の変更により三密を避ける形で開催しました。入寮式は、新入生の皆さんを歓迎する式典であるとともに、「この大学で学ぶ」意識をより強くする機会だと考えています。本来ならば、入学式の次の日に行われる入寮式ですが、今年は入学式の中止により、学生の意識が例年とは異なるものだろうと想像しました。そこで、寮長挨拶の中で、『このような状況であるからこそ、この入寮式を「今日この日から始まる中部大学での大学生活を実りあるものにするぞ」という宣言の日にしてもらいたいと思う』と伝えました。



さて、新型コロナウイルス感染症については、2月よりメッセージでお伝えしています。厚生労働省の報告によると、日本で4月2日までに約34,500件のPCR検査が行われています。これまでの科学論文や一部の報道でエビデンス(根拠)があると思われるものをピックアップすると、発症しても多くの場合は発熱や咳などの軽症であり、感染しても症状が出ない場合があるようです。潜伏期間は1から17日とばらつきがある(平均は7日程度)との報告です。感染は、咳等の飛沫とドアノブ等を介しての接触に注意が必要であることと、集団感染(クラスター)が世界各地で報告されています。しかし、家族(家庭)内感染も注意しなければなりません。手洗いやマスクをしていても感染することがあることも報告されています。

スポーツや芸術、芸能における著名人の中でも感染者が発生し、感染拡大がみられています。3月のメッセージにも書きましたが、私はコロナウイルスが専門ではありませんが、感染症や予防医学、ウイルス学を専門とする医学研究者です。今回の新型コロナウイルス感染症を率直な言葉で表すと、“(これは)大変”です。3月末、アメリカのジョンズ・ホプキンス大学システム科学工学センターが集計した世界の感染者は、累計で100万人を超えており、そのうち死者は5万人を超えています。世界保健機関(WHO)がパンデミックと認定した3月11日時点での感染者は、約11万8千人でした。イタリアやスペインなど欧州諸国に感染が拡大し、続いてアメリカでも一気に感染が広がっています。国連推計の世界人口が78億人ですが、新型コロナウイルス感染症対策として自宅待機を求められている人の数が39億人を超え(AFP統計)、世界人口の約半分に当たります。世界90超の国と地域で、自宅待機命令や自宅待機勧告、夜間外出禁止令、隔離といった外出制限が課されているようです。

このような事態です。新入生・在学生の皆さんは、状況を十分に理解し、分別をもって対応してください。ウイルスの特性や世界の状況を知れば知るほど、“大変”です。イタリア、スペインやアメリカで流行している感染症の原因ウイルスと日本で流行している感染症の原因ウイルスは同じです。いま我々に必要なのは、今一度、「感染しない」「感染させない」を強く意識することです。自分は大丈夫かもしれませんが、自分にとって大切な人や誰かにとって大切な人が大丈夫では無いかもかもしれません。一人ひとりが中部大生として高い自覚と責任をもって対応してください。

新型コロナウイルス感染症は、世界的に初めての経験で、不安やトラブルがあっても当然といえる状況です。マスク着用の息苦しい生活をしています。始まるはずのキャンパスライフも、学生の安心・安全および健康に最大限配慮し、授業開始日が5月7日まで延期されました。生活の心配と不安で誰もが落ち着かない日々を過ごしています。新生『学生サポートセンター』では、春学期の授業開始が延期されている間も、方法を考え、皆さんをサポートして行きます。連絡は、メールでも受け付けていますので、問い合わせ先からご連絡ください。

新しくなりました。場所も大きくなりました。様々な工夫をしながら、皆さんをサポートします。スタッフを代表して、新年度のご挨拶とします。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

学生サポートセンター長 伊藤 守弘